

曽根すずみ （高蔵寺高校→愛知教育大学）

入塾時期

高2 夏期講習

合格校

関西学院大学

南山大学

中京大学

中部大学

① 創ゼミという塾について

私は高校2年生の夏期講習から入塾しました。部活動が忙しかったため、なかなか勉強する時間が取れない中で、創ゼミは私が勉強を頑張ろうと思わせてくれる場所でした。塾生が受験に向かって懸命に努力する姿や、先生の言葉一つ一つが私に喝を入れてくれました。また、先生方の手厚く真剣な指導はとても身になりました。創ゼミに通うのは苦でなく、むしろ楽しみになるくらい私はこの塾が好きです。それは先生が一人一人をしっかり見て塾に行きたくなる雰囲気を作っているからだと思います。だから私は本当に創ゼミに入ってよかったです。

② 特に力を入れて頑張った科目

私が特に力を入れた教科は日本史です。入塾してから日本史が大事だと言われ続け、日本史にできるだけ時間を割くようにしていました。最初は全然暗記できず、覚えてもすぐ忘れ不安になりました。しかし模試で日本史の点数が高くなると、一気に判定があがりました。1つでも自信の教科を持っておくと他の教科で崩してしまっても判定がぶれなくなります。そのため暗記教科である日本史はとても重要です。私も本番に日本史で点数を稼いでおかげで合格できたと思っています。暇さえあれば日本史をやる癖をつけて、なるべく多い時間日本史に触れるようにすべきだと思います。

③ 共通テスト対策の重要性について

高校三年生になったばかりの頃は、高校の友達も二次試験の勉強をしていましたが、私はその時共通テスト対策をしっかりしていてよかったです。共通テストは演習が肝心です。例えば漢文は塾で本当にたくさん演習しましたが、最初は点数が安定せず苦しい思いもしました。しかし、句形を完璧にしてから2か月ほど経ったとき、漢文の点数が飛躍的に上がりました。二次試験のほうが大事だからという理由で共通テスト対策をないがしろにははいけません。点数が伸びるのにはかなりの時間を要します。塾でいわれたことを守り、早めに対策をすべきです。私は、共通テストの結果でA判定をとって自信が付き、合格に1歩近づいたという気持ちで勉強できたため、とてもよかったです。

と思っています。

④ 合格までの道のり

私は部活動が高校三年生の五月下旬までであったため、本格的な勉強は六月からしかできませんでした。しかし、部活をやっているときも試合の待ち時間に勉強したり、部活がない日は十時間以上勉強することを心掛けていました。受験は最後は一人です。部活が忙しいからという理由で勉強をさぼっていると、受かるはずの大学にも受からなくなります。周りの友達に流されず、一人で本気で集中して勉強しましょう。辛くても頑張った経験がきっと最後の試験で役に立つと思います。また、私は共通テストを課す公募推薦で合格しました。私の場合は共通テストの前に集団面接、集団討論があり、その対策をしなければなりません。まず大学に提出する志望理由書を作成しましたが、書き方や表現の仕方を先生が丁寧に教えてくれます。面接討論に関しても同様に、長い時間をかけて先生からたくさんの考え方を学び、万全な体制で臨むことができました。この個別の指導が合格に直結したと強く感じています。

⑤ 塾の小テストの重要性について

高校二年生の夏から英単語を覚え始めたことがすごくよかったと思っています。塾の小テストは絶対に合格しようという思いで頑張っていたため、最初は朝から夜まではずっと英単語をやっていたり、内職で英単語をやっていて怒られたこともありました。しかし最初は40点台をとっていた共通テストの英語があるとき急に伸びました。英単語を覚えた後すぐには点数は上がりません。私も半年かかりました。高校三年生になって周りが英単語を焦ってやっている中、高校二年生の夏に完璧にした英単語が糧となり、ほかの教科も点数が伸びていきました。英単語も似たようなものが多く忘れやすいです。単語の意味が一瞬でこたえられるようになるまで覚えこみましょう。また、英頻は英単語よりもさらに苦戦すると思います。ですが負けずに覚えることがとても重要です。もちろん共通テストにも役立ちますし、私立や二次試験では文法問題は一問も落とせなくなります。共通テストが終わってからやるのでは遅すぎます。声に出したり、メモに書いて持ち歩いたり、記憶に残る勉強をして周りとの差をつけましょう。小テストで結果を出すことも大切ですが、一番大切なのはその過程です。どれだけ自分がその小テストのために頑張ることができたのか。どれだけ必死に覚えようとしたのか。本番で成功することが最終目標です。小テストのために努力した過程を忘れずに、本番に向かって勉強していくことが大事だと思います。

⑥ 後輩塾生へのアドバイス

受験はとても苦しいものです。私は学校で周りの人が楽しそうに話している隣で一人で黙々と勉強し、文化祭の準備に全くいかず友達に怒られ、クラスの打ち上げに一回のいかず寂しい思いもしました。しかし、そんなことも忘れるくらい第一志望に合格することは嬉しいことです。受験は頑張っている人ほど悩みます。時には勉強から逃げたくなることもあるかもしれませんが、それでも最後まで突っ走ってください。苦しいときは伸

びるときです。私は辛くても頑張ることが合格への近道だと思っています。周りの塾生との差を感じて萎縮する必要はありません。自分をしっかり持って、自分のマイペースを壊しながら成長していけば大丈夫です。受験は長いですが、でも終わってみれば一瞬です。ですが、「あの時こうしておけばよかった」という後悔は一生残ります。皆さんには悔いのない勉強をしてほしいです。塾の先生に言われたことを心に刻んで、先生方を信じて頑張ってください。

最後に私が合格できたのは、創先生をはじめとする先生方のおかげです。一人一人を真剣に見て具体的なアドバイスで指導してくださった先生方には感謝しかありません。皆さんも創ゼミで合格を勝ち取れるよう頑張ってください。